

ごあいさつ

この度の異動で、和知中学校に着任いたしました谷口恭子と申します。京丹波町での勤務は初めてのことですが、遠く辿ってみますと和知は曾祖父のゆかりの地であることがわかり、不思議な縁を感じております。とは申しましても、まだ不勉強で地域のことはわかならいことが多いです。皆様に学びながら一日も早く慣れ、和知中学校の教育の推進に尽力してまいりたいと存じますので、何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、始業式、入学式を終え、全校生徒45名で令和2年度をスタートしましたが、新型コロナウイルス感染症防止のため、4月26日(日)まで休校となり、通常の学校生活を始められていません。学校再開に向け、新入生には3つの「C(チャレンジ・チェンジ・チャンス)」を考えておきましょうと呼びかけましたが、教師側にも当てはまることだと言えます。この状況下において、当初計画していた指導内容も見直す必要があります。しかし、「できないから諦める」のではなく、限られた時間や条件のなかでいかに工夫して意味のある教育を実践していくかが問われていると思います。生徒の安全が第一であることは言うまでもありませんが、時間もかけがえがありません。この困難な状況を乗り越えていくために、私たち教職員も発想をチェンジしたり、形を変えてチャレンジしたり、柔軟に知恵を出し合って協力していくことが重要だと考えています。

そのなかで本年度も大切にしたいことは、やはり地域連携であります。和知中学校の生徒の良さを最大限に発揮し、伸ばしていくのは学校と地域の協働が鍵だと考えております。和知人形浄瑠璃や和知太鼓など、他校にない取組は和知中学校生徒の宝です。これまで積み上げてこられたことに敬意を表しますとともに、保護者や地域の皆様のお力添えに厚く感謝を申し上げます。こうした取組を通し、身近にあるふるさとの素晴らしさを実感することで、生徒ひとり一人の自己肯定感が一層高まり、自分自身の目標達成に向けて自ら挑戦する生徒に育っていったくれるものと期待しています。そして何より、自分の良さに気づいてほしいと思います。様々な経験や学習を通して、仲間どうしでいいところを探し、認め合う雰囲気を作ることで、互いの良さがわかり、自信を持てるようになります。少人数ならではのチームワークを活かして、高まり合う生徒集団・学校づくりを目指していきたいと思っております。

保護者の皆様や地域の皆様には、本年度も本校教育の推進に御理解と御協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



京丹波町立和知中学校 校長 谷口 恭子